

# 「さざなみ」のメンバーが美化活動を推進

# 富浦協働つうしん

7月28日(木)

## 旧八束小学校の校庭の草刈りを実施

7月4日、富浦地域づくり協議会「さざなみ」のメンバー21名が美化活動を実施しました。参加者は、旧八束小学校の校庭に、当日、朝9時に集合し、約1時間半をかけ、校庭内の草刈りをしました。各々が草刈り機、釜、熊手等により、大粒の汗をかきながら、校庭の隅々まできれいに

していただきました。次回の美化活動は、秋以降の予定とのことです。



イワタバコの花が満開です。花言葉「涼しげ」の通り、濃い緑の葉と薄紫色の可憐な花は、暑さを忘れさせてくれます。



## 8月も毎週日曜日 園庭開放を続けます。

8月は水鉄砲、じょうろ等で水遊びをします。また暑さ対策として、打ち水等を十分に実施する予定です。飲み水を準備すると共に水に濡れてもよい服装で参加して下さい。

- 1 場所… 富浦保育所
  - 2 時間… 10時～12時
  - 3 問い合わせ先…
- 電話(20) 4744

## 8月10日、31日の コミュニティカフェは、お休み

実施会場(元気倶楽部の交流室)の都合で、両日のコミュニティカフェはお休みになります。

## コミュニティカフェの衛生管理を徹底

福原賢太郎さんの話

食品の衛生管理が注目されている中、食中毒予防の講習会に参加しました。この講習内容を活かし、コミュニティカフェの運営には今後も更に、衛生管理を徹底していきます。

## グランドゴルフの練習を楽しむ

7月6日、旧八束小学校の校庭で「さざなみ」のメンバーを含め、14名の市民がグランドゴルフを楽しみました。草刈り後始まる練習であり、ボールのコントロールが普段と異なったようです。

問い合わせ先：白井三郎  
電話(33) 3399



7月7日、「さざなみ」のメンバー13名が大房岬周辺ウオーキングを実施しました。

# 富浦地区でも津波を確認

3月11日、東日本大地震が発生した時、富浦地区でも引き潮が確認されています。富浦の原岡海岸では、写真の通り、海水が栈橋の先端近くまで引き、異様な光景となりました。当日、皆さんはどこに避難したでしょうか。富浦地区には、災害発生に備え、市立富浦体育館、大房岬駐車場等、35箇所の避難場所が指定されています（現在、これらの避難場所は見直し作業中、写真提供は原岡地区の渡辺さん）。写真の問い合わせ先（20）4744



3月11日、地震発生時の原岡海岸にある栈橋周辺の光景



平常時の栈橋周辺の光景



# 緊張感みなぎる避難訓練

東日本大震災の記憶が新しい中、6月27日富浦保育所で、避難訓練が行われました。この訓練には、園児26名、先生11名、合計37名が参加しました。園児達は、先生と一緒に手をつなぎ、緊張した雰囲気の中で、避難していました。

## 輝くひまわり

ひまわりの花言葉は、“元気な子ども”、“未来をみつめて”です。今、ひまわりが、花言葉の通り、子ども達の未来をみつめて、咲き輝いています。



北村秀雄さん

富浦の海岸を散歩すると「元禄地震の再来想定津波高」の標識があります。「この程度なら、安心」と思っていました。しかし、この安心感は、東日本大地震の発生により吹き飛んでしまいました。現在、私はどこに避難したらいいのか、途中に危険箇所はないのかを確認するため、妻と実際にいろいろなルートを歩いていきます



羽富道男さん

# 私の地震、津波への備え

私は、非常用持ち出し小型リュックサックを、いつも玄関に用意してあります。いざという時は、それだけを持って、瞬時に避難行動に移るつもりです。リュックサックの中身は、ペットボトル入りの水、救急薬品、非常食、寝袋、簡易トイレ、下着、ラジオ、懐中電灯等です。うまく避難所までたどり着ければ、数日間生き延びることが出来るでしょう。